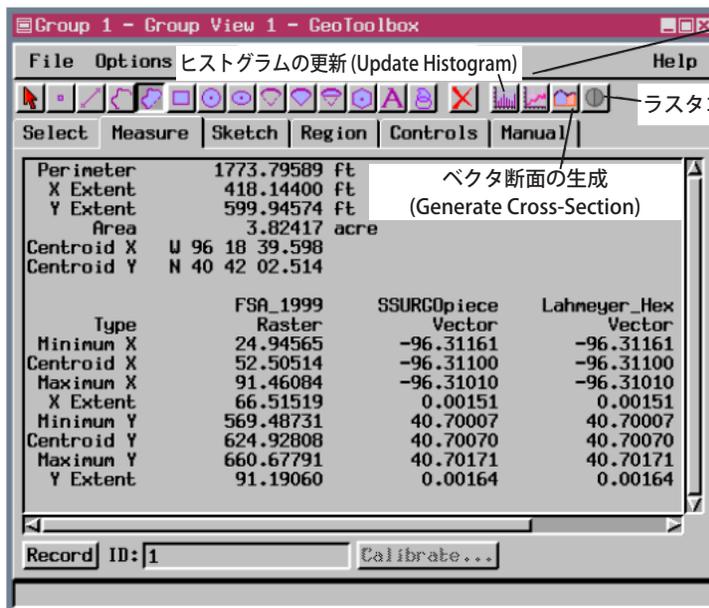


ジオツールボックス

ご存知でしたか?... ジオツールボックスでは、スケッチ、測定、リージョンの操作に関するさまざまなツールを利用できます。

ジオツールボックスによって...

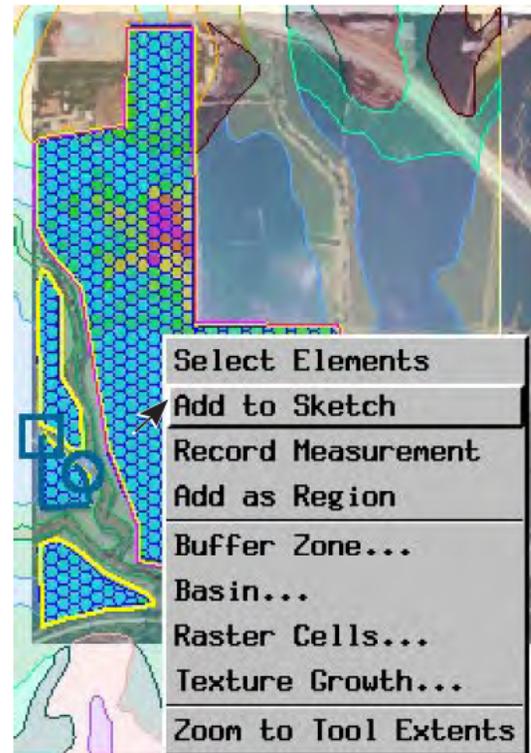
- スケッチと測定が統合されています。スケッチした図形に対して測定値をすぐに見ることができます。
- 任意のラインやポリゴンをスケッチオブジェクトに保存できます。
- GPS の入力データやログファイルをポイントやライン、ポリゴンとして利用できます。
- 要素を選択するためのツールがあります。
- リージョンの作成や管理ができます。
- ヒストグラムの更新、プロファイル (断面)、ベクタ断面、ラスタコントラストの更新といったツールを利用できます。



プロファイル (断面) ビューを開く (Open Profile View)

ラスタコントラストの更新 (Update Contrast)

スケッチレイヤに追加する描画ポリゴンの測定値を表示しています。あるいは他にも、描画済みのポリゴンからリージョンを作ったり、そのリージョンを使って要素を選択したり、テキストファイルに測定値を保存することができます。



ユーザは長さ、面積、角度、位置、標高の単位を選ぶことができます。全レイヤに対してレイヤ情報を表示したり、アクティブレイヤのみ表示したり、あるいは表示しない等の選択肢があります。地表面レイヤを追加している場合、地表面に沿った距離や、地表面での面積、地表面での領域範囲を表示できます。

ジオツールボックスを使用する方法

- 表示ウィンドウの [ジオツールボックス (GeoToolbox)] アイコンをクリックします。
- 使いたい図形ツールとタブパネルを選択します。
- タブパネルを変えて、情報を見たり操作を行います。
- 右マウスボタンを使って、描いた図形へのアクションを選択します。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：

スケッチと測定
(Sketching and Measuring)



(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp